

「つながる思い」



各地で孤立安



切実 命の72時間

がまがしお・照



宮城「死者1万人超」

3月12日

震災
復興

3月

2011年3月11日 東日本大震災









宮城県の女川町（おながわちょう）

女川第一中学校の生徒が
紡(つむ)いだ気持ち

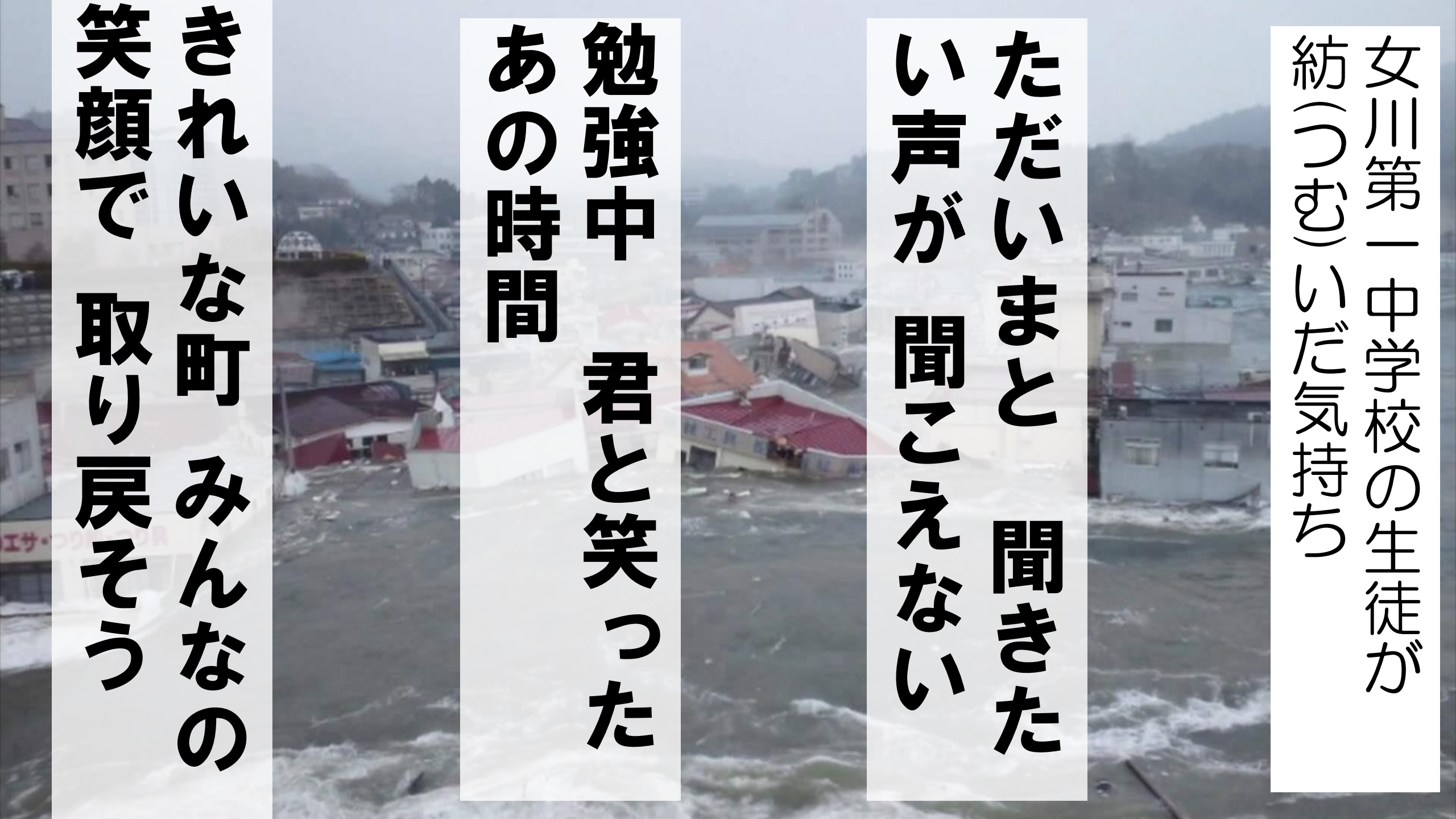
忘れてる 当たり前
の
大切さ

笑いたい 僕の得意な
サッカーで

みあげれば がれきの
上に こいのぼり

がれきから やつと見つ
けた 父の写真

震災に 負けてたまる
か 女川町



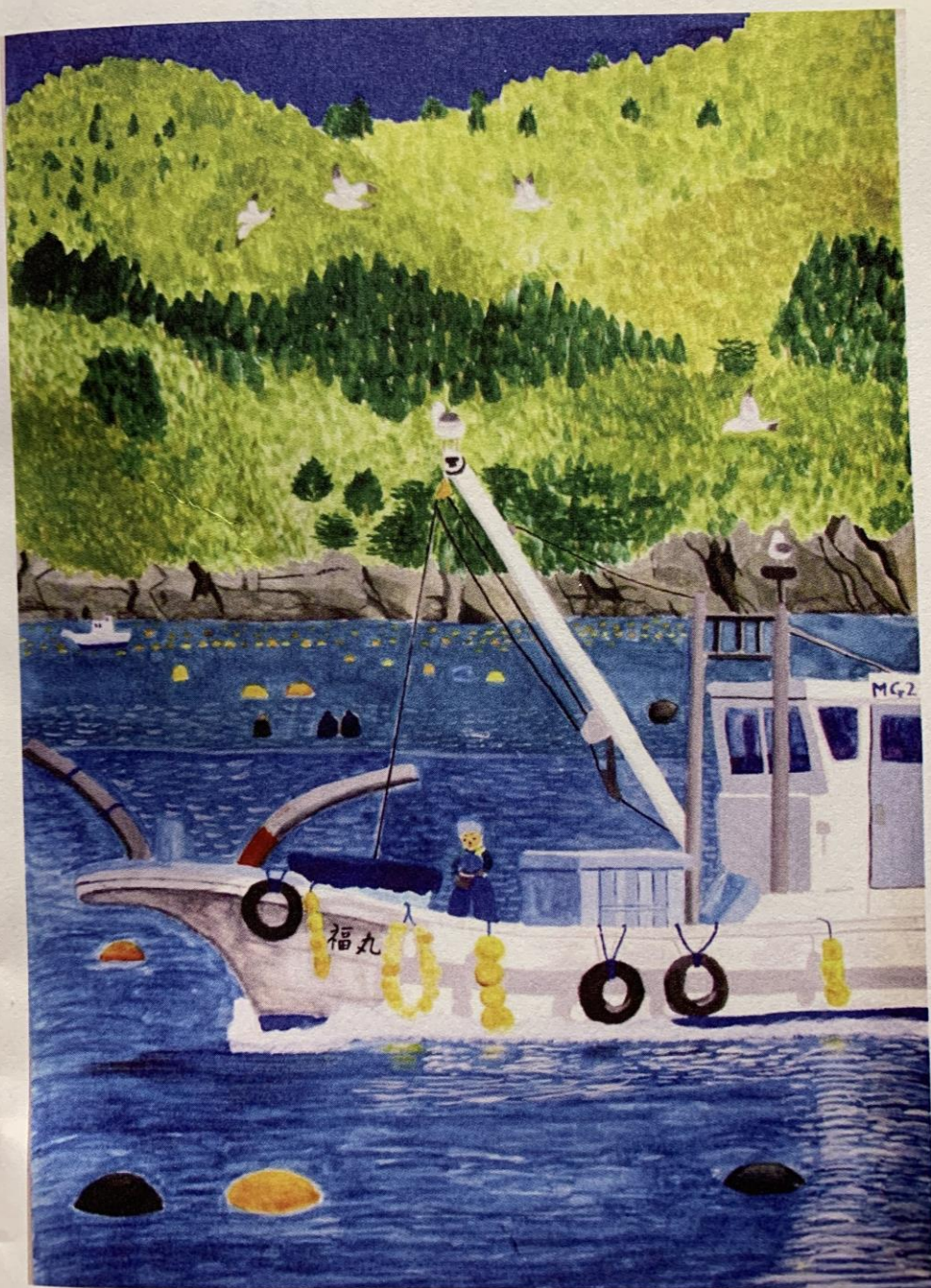
女川第一中学校の生徒が
紡(つむ)いだ気持ち

ただいまと 聞きた
い声が 聞こえない

勉強中 君と笑った
あの時間

きれいな町 みんなの
笑顔で 取り戻そう

女川第一中学校の生徒
が描いた震災前の故郷
の様子



鈴木里衣菜さんの作品

女川第一中学校の生徒
が描いた震災後の故郷
の様子

神田瑞季さんの作品



9月1日

「防災の日」







電信柱撤去作業を行う
インド隊員



石巻市で活動する
南アフリカ隊員

120カ国以上の 国々からの支援



Pray for Japan (日本のために祈ろう)



タイのスラムの住民が街頭募金





心はひとつ

Corazones Hermanados

パラグアイ国民は日本を応援します。

被災地支援 長期間保存豆腐

賞味期限

11.04.26

南米パラグアイ国は東日本大震災に際し、
同国日本人移住者が生産する大豆で作った豆腐を
同国友好支援活動として提供いたします。

被災地の皆様の日も早い復興は全パラグアイ国民の願いです。



賞味期間 11.04.26
賞味期間 11.04.26
賞味期間 11.04.26

賞味期間 11.04.26
賞味期間 11.04.26
賞味期間 11.04.26

パラグアイ





日系人は約6000人



大豆の生産量 世界4位

豆腐100万丁支援
プロジェクト

パラグアイの日系移民

「日本を救うために行動を起こしたい」



祖国日本を愛する
パラグアイ日本人
移住農家が育てた
大豆で作りました

心はひとつ
被災地支援豆腐
充填豆腐「きぬ」
パラグアイ日本人農家 寄贈大豆使用

豆腐100万丁 プロジェクト

被災地支援 豆腐100万丁



加納町長に豆腐を手渡す中田社長（中央）。右は渡辺社長

パラグアイ移民栽培の大豆原料

豆腐100万丁 被災地へ

石川町に1万丁 避難所で活用

本県をはじめとする東日本大震災の被災地に、パラグアイの日系移民が育てた大豆を原料にした豆腐百万丁を贈る取り組みが動き出した。十八日、県内で初めて石川町に一万丁が提供された。

提供を仲介しているのは緊急時の食糧確保と南米日本人移民農家の支援をしている会社ギアリンクス（岐

全国の中学生が重ねた気持ち

みあげれば がれきの上に
こいのぼり

希望と共に
未来を泳ぐ

未来への川
登り続ける

あの時よりも
強くたくましく

異国の人々が重ねた気持ち

みあげれば がれきの上に
こいのぼり

あなたの歩み 共にあり
ます (クロアチア)

忘れないんだ あの太陽
を (メキシコ)

あきらめないと 空を泳
いだ (パキスタン)

その上見れば 希望の光
(バングラディッシュ)

風が吹いたら 必ず会え
る (中国)

生きている限り 幸せは
ある (ブルンジ共和国)

パラグアイ





6年
7:00~7:20 朝礼
7:20~8:05 1時限
8:05~8:40 2時限
8:40~9:15 3時限
9:15~10:00 4時限
10:00~10:35 5時限
10:35~11:00 6時限

東日本大震災
ひがしにほんだいにしんさい

夜ご飯ハンバーガーがうれしな。
宮脇 正也

MASAY
[Small card with drawing]

火曜日にフットボールは楽しみな
夏鈴

KAREN

[Small card with drawing]

SUZU

弟とけんかになっておこられた
河野 陽

とモだちとうそをついたらけんかをする
田中 在

NAMI

[Small card with drawing]

ラパス日本語学校



東日本大震災

八月九日(金曜日)

CASA TSURUMOTO

100
100
100
100



がれきから
見つけた
父の写真
やっと



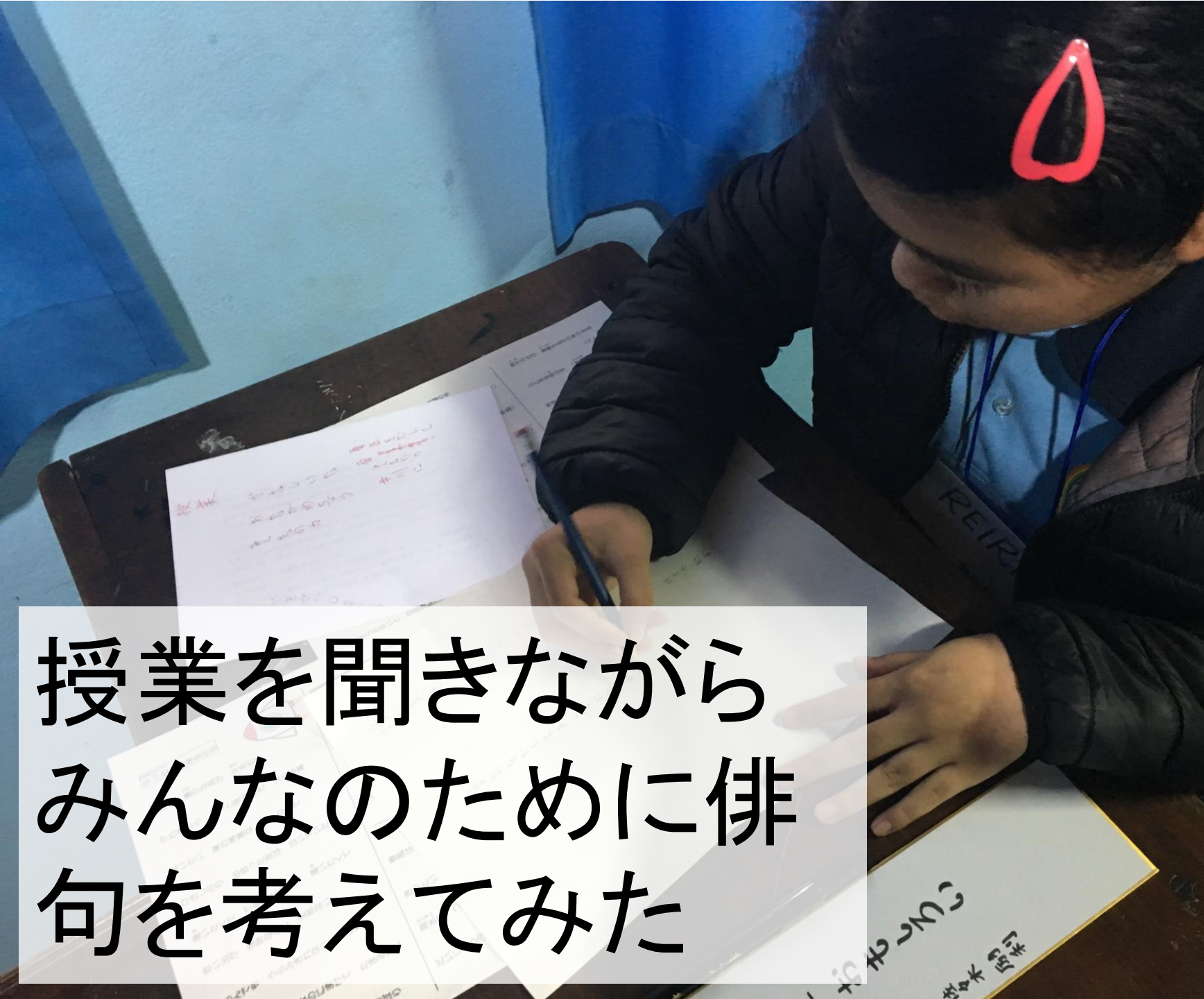
東日本大震災





八月九日(金曜日)雨
かた

えれい
とらよほの
かた



授業を聞きながら
みんなのために俳句
を考えてみた

な
の
力
な
の
力
女
川
に
み
ん
な
の
力
女
川
に

マ田ガ気をむしてみんなの力女川に。

佐々木 励利

佐々木 励利

父親がいなくなっ
ても そばにいる

勇気をだしてみんなのカサ川に

佐々木 励利

父親がいなくなってもそばにいる

河野 錫



もしこの句が少しでも
みんなの生きる希望
になったらうれしいで



たすけてくれてありがとうと思った。

たすけてくれてありがとうと思っ
た

名前(宮脇正也)

被災地の中学生の痛切な思いを真剣に読み取り自分ごととしてとらえていた

言葉じゃなくても心でつながる

鈴木航太先生
(保内小学校)

日本の反対の国から「日本の文化」で支援してくれた力強さ

私たちはパラグアイのことを知っているか？

玉腰 朱里先生
(東京都立大泉高等学校附属中学校)

